



平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 図研

コード番号 6947 URL <http://www.zuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真人

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 西 伸孝

TEL 045-942-1511

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,522	△20.7	△947	—	△1,017	—	△827	—
21年3月期第3四半期	14,525	—	604	—	691	—	571	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△32.78	—
21年3月期第3四半期	22.07	21.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	34,838	27,955	77.6	1,070.25
21年3月期	35,533	28,063	78.6	1,105.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 27,028百万円 21年3月期 27,913百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
22年3月期	—	7.00	—		
22年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	△11.3	100	△93.2	100	△93.9	250	△79.4	9.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 図研エルミック株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	27,903,669株	21年3月期	27,903,669株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,649,384株	21年3月期	2,647,962株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	25,254,831株	21年3月期第3四半期	25,877,230株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年1月21日発表の連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページをご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済環境につきましては、世界的な景気後退から持ち直し、回復の兆しは見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。当社グループの主要なお客様であるエレクトロニクス及び自動車関連製造業におきましても、設備投資の抑制傾向が続いており、当社グループを取り巻く環境も厳しい状況で推移いたしました。

このような中であって、当第3四半期連結累計期間の売上高は、115億2千2百万円（前年同期比20.7%減）となり、前年同期を大きく下回る結果となりました。これは、設計・製造プロセス全体の効率化を支援するPLM分野は景気動向にかかわらず比較的堅調に推移したものの、全体としては景気動向の改善が依然として開発・設備投資の活性化に波及しておらず、基板設計ソリューション及び回路設計・ICソリューションが前年同期を大きく下回ったことによるものです。

利益面につきましては、経費削減などの効果もあり、改善に向かいつつあるものの、売上高が減少したことにより、経常損失10億1千7百万円（前年同期 経常利益6億9千1百万円）、四半期純損失8億2千7百万円（前年同期 四半期純利益5億7千1百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末より6億9千5百万円減少して348億3千8百万円となりました。前期末と比較しますと、図研エルミック株式会社が連結対象会社として加わった影響が含まれております。

流動資産は有価証券が4億9百万円増加し、受取手形及び売掛金が17億2千4百万円減少したことなどにより、12億2千7百万円減少しました。固定資産は投資その他の資産が7億9千7百万円増加したことなどにより、5億3千2百万円増加しました。

負債の合計は、前期末より5億8千7百万円減少して68億8千3百万円となりました。流動負債は賞与引当金が3億9千万円減少したことなどにより、6億5千9百万円減少しました。また、固定負債は退職給付引当金が5千8百万円増加したことなどから7千2百万円増加しました。

純資産は、前期末より1億7百万円減少して279億5千5百万円となり、自己資本比率は77.6%となりました。少数株主持分は、主として前述の図研エルミック株式会社を連結対象とした影響などにより、7億7千7百万円増加しました。

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動で6億1千万円、投資活動で1億3千1百万円増加し、財務活動で3億6千万円の支出となったことから、前期末に比べ3億8千8百万円増加し、当第3四半期末は96億8千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億1千万円（前年同期比2億6千3百万円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上10億7千6百万円と売上債権の減少18億9千5百万円との差引合計によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1億3千1百万円（前年同期は12億5千2百万円の支出）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入6億3千万円と、固定資産の取得による支出3億3千3百万円及び投資有価証券の取得による支出2億1千5百万円との差引合計によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億6千万円（前年同期比7千2百万円減）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年1月21日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

持分法適用会社でありました図研エルミック株式会社は、株式の追加取得及び取締役構成員数のうち当社出身の役員が過半数となったことから、実質支配力基準に基づき、第1四半期連結会計期間末より、連結の範囲に含めております。

なお、図研エルミック株式会社は、平成21年7月1日をもって社名をエルミック・ウェスコム株式会社から変更しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化が無いと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①工事契約に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,071,012	4,116,643
受取手形及び売掛金	2,750,164	4,474,419
有価証券	14,742,169	14,333,010
商品及び製品	38,646	23,323
仕掛品	170,978	122,504
原材料及び貯蔵品	87,169	107,535
その他	1,223,663	1,135,888
貸倒引当金	△37,706	△39,385
流動資産合計	23,046,098	24,273,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,654,132	3,730,588
土地	3,055,518	3,009,559
その他(純額)	355,484	402,560
有形固定資産合計	7,065,134	7,142,708
無形固定資産		
のれん	612,869	924,251
その他	636,591	512,835
無形固定資産合計	1,249,461	1,437,087
投資その他の資産	3,477,602	2,680,088
固定資産合計	11,792,198	11,259,884
資産合計	34,838,296	35,533,823

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,894	372,939
未払法人税等	46,521	312,773
賞与引当金	351,713	742,624
役員賞与引当金	—	15,000
その他の引当金	21,164	—
その他	3,415,470	3,349,398
流動負債合計	4,132,764	4,792,736
固定負債		
退職給付引当金	2,592,060	2,533,628
その他	158,217	144,302
固定負債合計	2,750,277	2,677,931
負債合計	6,883,042	7,470,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,117,065	10,117,065
資本剰余金	8,657,753	8,657,753
利益剰余金	11,206,688	12,388,124
自己株式	△2,899,859	△2,898,859
株主資本合計	27,081,647	28,264,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,136	3,491
為替換算調整勘定	△212,312	△354,197
評価・換算差額等合計	△53,176	△350,706
少数株主持分	926,783	149,777
純資産合計	27,955,254	28,063,155
負債純資産合計	34,838,296	35,533,823

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,525,066	11,522,116
売上原価	3,605,987	2,898,711
売上総利益	10,919,079	8,623,405
販売費及び一般管理費	10,315,026	9,570,857
営業利益又は営業損失(△)	604,053	△947,451
営業外収益		
受取利息	106,469	63,938
助成金収入	—	32,480
その他	91,726	58,336
営業外収益合計	198,195	154,754
営業外費用		
為替差損	26,623	148,658
持分法による投資損失	73,779	51,186
その他	10,211	25,351
営業外費用合計	110,614	225,195
経常利益又は経常損失(△)	691,635	△1,017,892
特別利益		
固定資産売却益	—	5,783
子会社清算益	98,857	—
事業譲渡益	44,456	—
その他	16,735	150
特別利益合計	160,048	5,933
特別損失		
特別退職金	—	48,164
投資有価証券評価損	115,553	—
その他	11,144	16,402
特別損失合計	126,698	64,567
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	724,985	△1,076,526
法人税、住民税及び事業税	218,910	59,358
法人税等調整額	△53,205	△116,982
法人税等合計	165,705	△57,624
少数株主損失(△)	△11,760	△191,036
四半期純利益又は四半期純損失(△)	571,041	△827,865

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	724,985	△1,076,526
減価償却費	411,705	445,102
のれん償却額	98,044	60,208
持分法による投資損益(△は益)	73,779	51,186
子会社清算損益(△は益)	△98,857	—
事業譲渡損益(△は益)	△44,456	—
投資有価証券評価損益(△は益)	115,553	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,380,908	1,895,735
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,181,123	△120,666
その他	△721,897	△408,012
小計	1,758,642	847,027
利息及び配当金の受取額	124,168	75,844
利息の支払額	△208	△627
法人税等の支払額	△1,008,639	△311,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	873,963	610,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△124,903	89,986
有価証券の取得による支出	△1,994,300	—
有価証券の売却による収入	2,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△373,397	△87,873
無形固定資産の取得による支出	△332,045	△245,585
投資有価証券の取得による支出	—	△215,495
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	630,371
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	△75,539	—
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得に対する前期末払い分の支払による支出	—	△68,595
関係会社株式の取得による支出	△383,719	—
事業譲渡による収入	18,608	—
その他	13,057	28,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,252,240	131,675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△70,013	△1,000
配当金の支払額	△362,510	△353,571
その他	—	△5,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432,523	△360,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△408,611	6,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,219,412	388,306
現金及び現金同等物の期首残高	10,539,849	9,296,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,320,437	9,684,589

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当社グループは、エレクトロニクス産業の設計から製造までのプロセスにかかわるソリューションの研究開発・製造・販売及びこれらに附帯するクライアントサービス業務の単一事業を営んでおります。従いまして、事業の種類別セグメント情報につきましては、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日） (単位：千円)

	日 本	欧 州	その他	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,208,067	3,095,565	1,221,433	14,525,066	-	14,525,066
(2) セグメント間の内部売上高	573,165	407,688	25,881	1,006,736	(1,006,736)	-
計	10,781,233	3,503,254	1,247,315	15,531,803	(1,006,736)	14,525,066
営業利益（又は営業損失）	487,250	39,966	100,707	627,924	(23,870)	604,053

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日） (単位：千円)

	日 本	欧 州	その他	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,094,287	2,323,949	1,103,879	11,522,116	-	11,522,116
(2) セグメント間の内部売上高	453,274	353,653	51,505	858,433	(858,433)	-
計	8,547,562	2,677,603	1,155,384	12,380,549	(858,433)	11,522,116
営業利益（又は営業損失）	(881,112)	(150,416)	80,594	(950,935)	3,483	(947,451)

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。
- (1) 欧 州…英国・ドイツ・フランス
- (2) その他…米国・韓国・シンガポール・中国・台湾
3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用
 前第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。
 なお、これにより前第3四半期連結累計期間の欧州の営業利益は14,247千円増加しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：千円)

	欧州	その他	計
I 海外売上高	3,062,776	1,414,535	4,477,312
II 連結売上高	-	-	14,525,066
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	21.1%	9.7%	30.8%

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：千円)

	欧州	その他	計
I 海外売上高	2,317,391	1,191,671	3,509,062
II 連結売上高	-	-	11,522,116
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.1%	10.4%	30.5%

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。
 (1) 欧州…英国・ドイツ・フランス
 (2) その他…米国・韓国・シンガポール・中国・台湾
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

6. 販売及び受注の状況

(1) 売上高

(単位:千円)

品目別	期別	前第3四半期連結累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年12月31日〕	
		金額	構成比率	金額	構成比率
			%		%
基板設計ソリューション		3,704,041	25.5	2,189,321	19.0
回路設計・ICソリューション		3,542,102	24.4	2,456,053	21.3
ITソリューション		1,827,585	12.6	1,596,515	13.9
クライアントサービス		5,435,641	37.4	5,270,066	45.7
その他		15,696	0.1	10,160	0.1
合計		14,525,066	100.0	11,522,116	100.0

(2) 受注高及び受注残高

(単位:千円)

品目別	期別	前第3四半期連結累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年12月31日〕	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高
基板設計ソリューション		3,981,754	751,653	2,072,373	552,853
回路設計・ICソリューション		3,708,677	680,970	2,739,427	635,391
ITソリューション		2,413,341	796,887	1,865,551	520,092
クライアントサービス		5,418,552	2,668,858	5,319,168	2,798,498
その他		14,157	157	7,710	1,150
合計		15,536,484	4,898,526	12,004,230	4,507,986

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。